

プロジェクト実習第二

－療育機器の開発－

大嶋 康敬

装置開発グループ

13 目的

メカトロ技術について学習したことを生かして療育機関で求められている機器を開発し，評価を受け改善を行うという一連のものづくりを体験する．

14 内容

療育機関でのヒアリングを行い，下記の 3 つのグループに分かれ，作業を行った．

A グループは，IoT(Internet of Things)を活用して，患者の状況をセンサーでモニタリングしつつ異常があったときに連絡および画像を記録する管理システムの開発

B グループは，犬のぬいぐるみの足や尻尾を触れると，音楽がながれたり，風が吹いたりして感覚を刺激する機器の開発

C グループは，同講義で以前に開発した移動用カートの乗り心地等の改良．

受講者

工学部 機械システム工学科 3 年生 12 名 後期 金曜日 3,4,5 限

15 指導内容

A, B グループの制御回路およびプログラミング指導

16 まとめ

療育機関で求められているもののヒアリングを行い，仕様を決定して製作を行い，評価をうけて改善を行うという一連のものづくりが体験できる貴重な実習であった．また，設計製図やプログラミング，プロジェクトマネジメントなど今まで講義で学習してきたことを駆使して製作を行う体験ができた．